# マックスクリーンボー

SUNCKU-290DS

小型消臭機取扱説明書



株式会社リンシュンドウ RSD CO., LTD

# はじめに

このたびは、消臭機 マックスクリーンボーをお買い上げ頂き、ありがとうございます。 長期間故障なく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、 本機の性能を十分発揮できますよう正しいお取扱をお願いします。

	目次	ページ
第1章	本機の名称と仕様 構造・各部の名称、設置、運転前の確認	P.2
第2章	運転手順	P.3
第3章	保守点検 1次フィルタの交換、排気フィルタの交換 日常点検・故障の原因と対策について	P.3
第4章	その他注意事項 お買い上げメモ 保証書(添付)	Р.6

#### 本書中のマークについて

$\Diamond$	数件	絶対に行ってはいけないこと、および取り扱いを誤ると重大事故に つながることを説明しています。
<u> </u>	注意	正しく安全に使用していただくための注意事項、および取り扱いを 誤ると故障の原因になることを説明しています。

# 第1章 本機の名称と仕様

開梱されましたら、各部の不足部品がないかご確認下さい。

#### 1-1 構造・各部の名称



## <u>仕様</u>

型式	電源	消費電力	周波数	定格電流
SUNCKU-290DS	100V	366/370W	50/60HZ	7.5A

風量	静圧	製品重量	吸込口	吐出口
2m³/min	5.5Kpa	90 kg	φ 100	φ 100

#### 1-2 設置

設置にあたっては下記の項目に注意して下さい。

- 本機は屋内用です。
- 冷却ファン、冷却空気排気口の上をふさがないで下さい。
- 設置は水平の位置でガタツキが無いように設置して下さい。
- 正面(スイッチ側)はメンテナンスのため 500 mm以上スペースを空けて下さい。
- 本機の入力電源は100V単相です。



アースは必ずとって下さい。 電源プラグはアース付になっています。

#### 1-3 運転前の確認

正しく水平に設置されているか。

アースはとれているか。

用意できましたら、主電源スイッチを入れて、ランプの点灯とともに、冷却ファンが 回転するかを確認してください。

次にブロア運転スイッチを入れ吸込口からの吸引を確認してください。 吸込口にホースを接続してください。

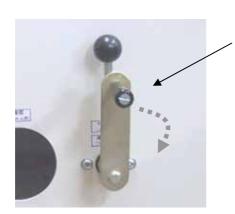
#### 第2章 運転手順

電源コンセントを入れてください。 主電源スイッチを入れてください。 ブロア運転スイッチを入れてください。

## 第3章 保守・点検

#### ■ 日常点検

1日の作業が完了したら、運転を停止して、必ずチリ落としレバーを回転させてチリ落としを行ってださい。(**1次フィルタのちり落とし作業**) 添加剤(ゼオライト) は、定期的に交換下さい。

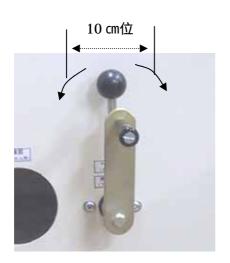


手前のレバーを3回転させてください。 (時計回転に回転させてください。)

1回(3回転)/1日作業終了時

1日の作業終了前に、**運転状態(吸引状態)** にて**ブラックボール位置替えレバー**を。 を左右に動かしてください。

左右に10cm位 2往復動かしてください。



1回(3回転)/1日作業終了時

♦ 1次フィルタ圧力計の赤いフロートが赤いラインまで上っていないか。 チリ落としをしても赤いフロートが下がらない場合は、フィルタが寿命の場合 があります。

\*詳しくはメンテナンス編を参照下さい。

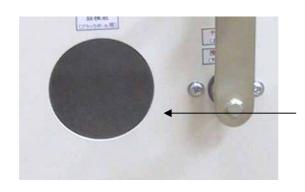


赤いライン

- 1ヶ月に1度点検してください。
- ♦ ブラックボール点検

ブラックボールは の位置が適切です。

点検窓から見えにくい状態になった場合は補充してください。



1回/3ヶ月毎 補充方法はメンテナンス編を参照下さい。

ブラックボール適正位置

#### ■ メンテナンス

ゼオライトの交換

ゼオライト交換目安は、100時間です。

- 消臭機運転を停止する。
- チリ落としレバーを3回転させてフィルタのちり落としをする。 2.
- アリ洛としレバーを3回転させてフィルタのらり洛としをする。フィルタ、ゼオライト点検扉のパッチンを解除して開いてください。\*チリ落とし後1~2分間待ってから扉を開けて下さい。ゼオライトが飛散します。 チリ落としされたゼオライトを専用スコップで取り出してください。\*受け皿を引き出すと周囲にゼオライトが飛散します。一度の交換量は、スコップ4杯です。(2Kg)受け皿の3分の2程度が目安です。 4.





ゼオライトを入れすぎるとフィルタへの 巻上げが出来ない場合があります。

- 投入後扉を閉めてブロア運転スイッチを入れて約3分間運転をして 5. ください
- 再度扉を開けてゼオライトが、フィルタに均等に付着しているか 確認下さい。(付着量は、フィルタ表面に 1mm 厚みで付着が最適) ゼオライトの捲き上がりが少ない場合、受け皿の中間板隙間を確認 下さい。隙間の目詰まりが、ゼオライトの巻き上げを妨げます。

# ブラックボールの補充

ブラックボールの補充は、ブラックボール点検窓から見えなくなったときです。



適正位置を下回り、点検窓から見えなくなった時、出来 るだけ早く補充してください。

- \*ブラックボール消耗頻度は、ブラックボール位置かえ レバーの回転数に比例します。
- \*ブラツクボールの補充は、適正位置まで、補充・充填 して下さい。(ブラックボールは 1Kg 毎の販売です)

適正位置

投入時は、ブラックボール投入口のつまみを左に廻して開き スコップで投入してください。

\*投入後はしっかり扉を閉めて下さい。



#### 1次フィルタの交換



扉を開きフィルタ上部の蝶ネジ2ヶ所を左に して廻してはずします。

フィルタ交換は1年です。(使用頻度、取扱い により異なります。)

\*目安としてフィルタ圧力計にフロートが上 限まで達して、チリ落としをしても回復しない 場合です。

# フィルタ、交換前のワンポイント

圧力計フロートが下がらない場合、フィルタ交 換前に下記の確認を行ってください。

- ・チリ落とし後、フィルタ表面を確認する。 フィルタ表面に粉塵が付着しているときに はやわらかい刷毛(ブラシなど)で方面を刷 くようにしてください。
- ・フィルタ表面にこびりついた粉塵が取れ、フ ィルタの白い地肌が見えてくれば再度所定 の運転をしてください。さらに繰り返し運転 が可能です。

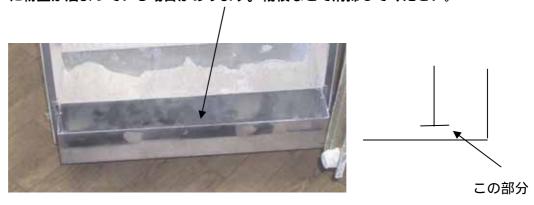


フィルタの劣化はゼオライトの交換が定期的に 正しく行われていれば長期間使用できます。

#### 第4章その他注意事項

- ◆ フィルタ圧力計の赤いフロートが上っていないのに吸い込みが低下した場合
  - ◆ ブラックボール位置換えレバーを3~4往復させて下さい。

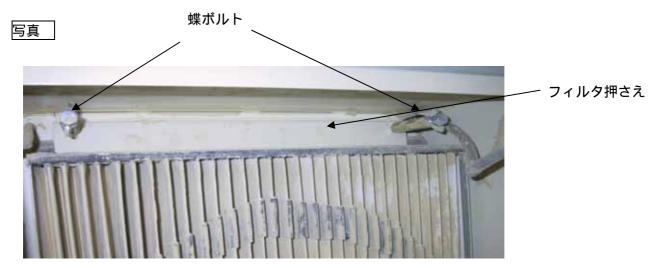
それでも吸込み状態が変わらない時



- ◆ 吸込みは低下していないが、フィルタ圧力計のフロートが下がらない場合

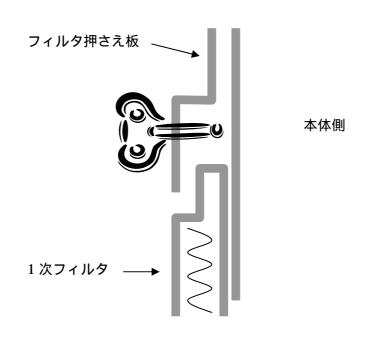
# ■ フィルタ交換注意事項

- 扉を開け、フィルタ上部の固定版を取り外す。
  \*蝶ボルト2箇所で固定されています。
- 2. フィルタを少し上部へ引き上げるようにして取り外す。
  - \*取り外した後、新しいフィルタを設置して下さい。
  - \*フィルタ押さえの方向は、下記の写真 ・ のように取り付けてください。



# 写真





#### 消臭機取扱説明書追記

本機お取扱いに関しまして、停電時の復帰方法が取扱説明書に明記されておりませんでしたので、追記させていただきます。

停電時安全性を考慮し、自動復帰(運転)しないようになっております。 停電時の運転再開は次の手順で行ってください。

プロア運転ボタンを押し、停止状態にしてください。 主電源スイッチをOFFにして下さい。 10 秒以上待ってから(\*)主電源スイッチをONにして下さい。 プロア運転スイッチをONにして下さい。

運転が始まります。

\* 10 秒以内に電源スイッチをONにしますと、安全装置 が復帰されていませんので からやり直してください。

#### 消耗品リスト

1次フィルタ(ポリエステルフィルタ)・・・・・・ 交換目安約6ヶ月~1年排気フィルタ・・・・・ 交換目安約半年~1年ゼオライト(2 kg/1 台分)・・・・・ 交換目安3週間~4週間活性炭・・・・・ 交換目安1年

注)上記交換目安年数はお客様の使用頻度、吸い込み粉塵濃度によって変わります。

# ご注意

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。